

第65回帯広市PTA連合会研究大会開催にあたって

帯広市PTA連合会

会長 谷保 寿彦

令和3年度 第65回帯広市PTA連合会研究大会開催にあたり、平素より各学校PTA会員の皆様には通常の活動に加え本会へのご支援、ご協力を頂いておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の続く本年度ではございますが、帯広市PTA連合会では、一昨年度より遂行しております“10年ビジョン「OBIEP STYLE」”をもとに、再編された各部の活動内容の精査、各校のPTA会長が集う会長情報交流会の実施、また各学校代表者1名が議決権を行使する新形態での総会実施、等を行ってまいりました。残念ながら総会の縮小開催、広報紙研修会の中止、部会の未開催など対面の機会は激減しておりますが、各校のPTA活動を下支えするのが当連合会の役割であります、年度も半ばを過ぎましたが、可能な限り各校の活動を応援させて頂きたいと思っております。

連合会として出来る応援の形としまして、私は『情報の共有』『伝達方法の改善』が重要と考えております。今年度より帯広市子供安全ネットワーク（安全メール）を積極的に活用させて頂けることになりました。各校PTA役員の皆様への連絡は勿論のこと、個会員皆様へ直接発信することが可能となり、日数の短縮・各事務局の手間削減・紙資源の節約を可能なものとしております。移行一年目の本年度、現在40%弱の登録率となっておりますが次年度以降は100%を目指していきます。また、HPでの情報発信強化とSNSを駆使致しまして、より身近に・スピーディーに、会の活動内容や共有すべき大事な情報をお伝えしております。コロナ禍が終息に向かう状況下になり対面の機会が増える場合におきましても、以上2点を恒久的にするべく様々な手法を連合会として模索して行きたいと考えます。

今回の研究大会開催にあたりましては、今年度もやはり、如何に全会員様へこのコロナ禍の中で学びを提供できるだろうか、という難しい状況下での企画スタートとなりました。参加人数制限、書面のみでの開催、開催断念・・・様々なケースを想定しながら、それでも何か連合会として出来ることは無いだろうか？という強い想いを基に、なんとかリモート開催まで漕ぎ着けることが出来ました。こんな状況下であるからこそ、普遍的な課題～今日的な課題まで、親も先生も皆で改めて学べる機会となって頂けるのであれば幸いです。

最後になりますが、開催にあたりご協力賜りました各講師の皆様、そして子育て教育部役員の皆様に感謝申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

これからも帯広市PTA連合会へのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。